

データセンターの共同開発に向けた新会社の設立

2023年12月19日

株式会社NTT データグループ

NTT グローバルデータセンター株式会社

東京電力パワーグリッド株式会社

株式会社NTT データグループ（本社：東京都江東区、代表取締役社長：本間 洋）、NTT グローバルデータセンター株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木 康雄）、東京電力パワーグリッド株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 社長執行役員：金子 禎則）は、千葉県印西白井エリアにおいて、データセンターの共同開発および運用を目的とした新会社の設立に向けて合意しました。NTT グローバルデータセンターと東京電力パワーグリッドの2社間で締結した出資者間合意書をふまえ、2023年度内に特別目的会社（SPC）を設立し、同エリアでのデータセンター開設とサービス開始を2026年度下期に計画しています。今後も首都圏を中心に、順次データセンター開発および運用を共同検討していきます。

NTT グループは、新中期経営戦略に基づき、IOWNによる新たな価値創造、データドリブンによる新たな価値創造を実現していくため、成長分野であるデータセンター事業の拡張、高度化を推進し、今後5年間1.5兆円の投資を計画しています。

東京電力グループは、第四次総合特別事業計画に基づき、保有する設備・土地等のアセット、電力設備の建設・運営等のノウハウを活用して、データセンター等の普及を地域とともに促進することで、電力設備の設備効率や持続可能性の向上等に取り組んでいます。

データセンター市場は、生成 AI 技術等の活用進展に伴い、データ需要は今後も増大していくと想定されており、データセンターへのニーズも引き続き高水準に推移していくと考えられます。特に今回共同開発を検討する千葉県印西白井エリアは、大規模データセンターの集積地として、データセンター利用の新規および拡張ニーズが特に高い地域となっています。

このようなデータセンターをめぐる動向やニーズの変化に応えるため、今回の共同検討の実施にあたり、NTT グローバルデータセンターならびに東京電力パワーグリッドは、本事業推進を目的とした特別目的会社を、2023年度内に資本比率50：50で設立、千葉県印西白井エリアに用地を取得し、両社で開発するデータセンター第一弾として、IT 機器向け電力容量が50MWのデータセンターを開発する予定です。

NTT データグループの有する先進的な通信および情報処理技術とグローバルに標準化されたデータセンターの構築運用ノウハウ、東京電力グループの有する多様な電力設備の構築運用、カーボンニュートラルソリューションのための分散電源の最適活用ノウハウ等を組み合わせ、デジタル化ならびにカーボンニュートラル化の実現に向けた社会的課題解決に貢献すべく、先進的なデータセンターモデルの実現を目指します。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 NTT データ 広報部 田中

E-mail : nttdata-pr-inquiries@am.nttdata.co.jp

NTT グローバルデータセンター株式会社 企画部

E-mail : gdc@ntt.com

東京電力パワーグリッド株式会社 秘書・リスクマネジメント室

03-6373-1111 (代表)